

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)

【公開番号】特開 2003-230685 (P2003-230685A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 19 日 (2003.8.19)
 【出願番号】特願 2002-33131 (P2002-33131)
 【国際特許分類第 7 版】
 A 6 3 F 7/02
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 1 8

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 10 月 25 日 (2004.10.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 3】

そして、前記第 2 および第 3 透明板 1 2 b, 1 2 c は略同一形状に形成されると共に、各透明板 1 2 b, 1 2 c の上下方向における略中央位置に、左右に対向する一対の対向片間において直線的に延在する断面三角形の凹部であって、前記 L E D ランプ 2 4 からの照射光により明輝表示し得る 1 本の第 2 の線状部 (指示部) 2 2 B および第 3 の線状部 (指示部) 2 2 C が対応的に形成されている。また、前記第 2 および第 3 透明板 1 2 b, 1 2 c における夫々の左右両側は、複数の前記支持ローラ 3 0 で支持されている。更に、第 2 および第 3 透明板 1 2 b, 1 2 c の夫々に対応し、各透明板 1 2 b, 1 2 c を上下方向に平行移動させ得る前記第 1 駆動手段 1 4 a, 1 4 a と、当該透明板 1 2 b, 1 2 c の平行移動開始および停止を制御し得る前記第 1 駆動制御手段 1 6 a, 1 6 a とを備えている。すなわち、第 2 および第 3 透明板 1 2 b, 1 2 c を平行移動させることで、前記各第 2 および第 3 の線状部 2 2 B, 2 2 C も夫々独立して平行移動するようになっている。なお、前記透視窓部 4 2 の上下に所要間隔で離間して配設される前記規制部材に当接することで、前記第 2 および第 3 透明板 1 2 b, 1 2 c の平行移動範囲が規制されて、各透明板 1 2 b, 1 2 c の前記各支持ローラ 3 0 からの脱落が防止される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 9
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 6 9】

前記矩形枠体 1 3 a の後側に位置する前記円形枠体 1 3 b の中心は、前記透視窓部 4 2 の略中心に一致すると共に、透視窓部 4 2 の内部に露出しないようになっている。また、前記円形枠体 1 3 b の外周縁部には、複数の前記支持ローラ 3 0 が当接されて、略垂直面内で回転可能に支持されている。更に、前記第 2 駆動手段 1 4 b の駆動ローラ 2 9 が、前記円形枠体 1 3 b の外周縁部に当接する状態で配設されており、該第 2 駆動手段 1 4 b の正逆回転によってこの円形枠体 1 3 b を正逆回転するよう構成される。更にまた、この第 2 駆動手段 1 4 b の回転開始、回転停止、回転方向および回転速度が、前記第 2 駆動制御手段 1 6 b によって制御されるようになっている。